



日本プライマリ・ケア連合学会  
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055  
E-mail jpca@a-youme.jp  
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.29 (2020.7)

- ❖ **新任理事挨拶** 2020-2021 新体制が始動しました！
- ❖ コロナ禍の中、JPCA 近畿ブロックの幹事会、代議員会が WEB にて開催されています！
- ❖ **第 34 回近畿地方会が延期されました！**
- ❖ 4 月からスタートした専攻医向けに**近畿ブロックオリエンテーション/ポートフォリオ合宿**が WEB 上で行われました！

#### [ご挨拶] 理事就任



#### 雨森 正記 (医療法人社団弓削メディカルクリニック・滋賀家庭医療学センター)

この度、全国選出理事に再選させていただきました。これまで近畿ブロック長、生涯学習委員長として活動させていただいておりました。また昨年の京都での第 10 回学術大会長としての会の運営にあたらせていただき、多数の皆様のご協力のもと盛会に終わられたことをこの場を持ちまして感謝申し上げます。これからの 2 年間は次の世代の方への橋渡しの役として活動を続け、少しでも皆様のお役に立てるように努力させていただく所存ですので何卒よろしく願いいたします。

#### [ご挨拶] 理事就任

#### 鈴木 富雄 (大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座)

皆様、平素より大変お世話になっております。大阪医科大学附属病院総合診療科の鈴木富雄です。昨期に引き続き、今期も日本プライマリ・ケア連合学会の理事を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨期は HPV ワクチンに関する特別委員会を通じて厚生労働省に「HPV ワクチン接種の積極的勧奨の即時再開を求める要望書」を提出し、昨年度末からのコロナ禍に対して、感染症プロジェクトチームを組んで「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き」を作成するなど、感染症がらみの仕事が多かったのですが、専攻医対象のポートフォリオ発表会に大阪医大を使用していただいたこともあり、専攻医教育という観点から若手の先生方と一緒に仕事をさせていただき、学び多く大変楽しい機会にも恵まれました。

今年度は大阪医大で第 34 回近畿地方会を開催する予定でありましたが、昨今の状況から残念ながら来年度に延期という判断をせざるを得ませんでした。まだまだ、コロナとの持久戦は続きそうですが、この間の取り組みも踏まえ、来年度は伝統の力と革新の才を融合させて、近畿の新たなパワーを爆発させられるような地方会にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



【ご挨拶】 理事就任

石丸 裕康 (天理よろづ相談所病院)



このたび、近畿ブロックより再度理事に選出いただきました石丸裕康です。コロナ禍の中、皆様大変な思いで診療にあたられているかとお察しします。大変な危機ではありますが、視点を変えれば少子高齢化が進む中、変革の必要性が叫ばれていたにもかかわらず遅々として進まなかった保健医療福祉のありかたが、大きく変わる機会ではないかとも感じております。プライマリ・ケアの理念、総合診療医/家庭医の役割は極めて重要であり、皆様の現場の実践を糾合し、そのプレゼンスを高め、よりよい医療を提供することが学会の役割と考えております。昨期、理事として他の地域の現状にも触れる機会がありましたが、近畿の活動は長い伝統の上に、若手の積極的な活動がうまくかみ合っており模範となるものと改めて実感しました。微力ではありますが、さらなる発展をめざし尽力したいと考えております。学会では主に病院総合医委員会で活動してきました。現在日本病院総合診療医学会を中心として関係学会・団体が協力し構築中の病院総合診療専門医制度に学会を代表して参画しており、徐々に形になってきているところです。これについても継続的に取り組み、情報発信に努めます。

【ご挨拶】 理事就任

川島 篤志 (市立福知山市民病院)

大阪出身の川島 篤志と申します。京都北部の市立舞鶴市民病院で初期研修、大阪の市立堺病院で総合内科や研修システム構築に関わり、現在の市立福知山市民病院に赴任して11年が経過しました。最後までこの地域・医療機関で病院総合医として勤務する覚悟もっています。

医師不足・医師偏在のある京都北部の地域基幹病院で、「病院での家庭医療の実践、病院から地域医療への貢献」を意識し、「診療所医師の気持ちがわかる病院総合医」として医療・教育を実践しています。現在、総合診療プログラムを大江分院との連携で運営し、専攻医と共に研鑽しています。JPCA 病院総合医委員会の副委員長、日本内科学会地域医療教育WGの委員として参画おり、今期からはセクシャルヘルス委員会・高齢者医療委員会にも関わる予定でウキウキしています。地方都市での病院総合医実践・教育（求められる医療の実践、臨床推論・身体診察、予防・人生会議など含めて）、後輩たちへの強いメッセージ発信、他組織との連携などに尽力すると所信表明しました。地域ブロックでは更に歯科・薬剤師や在宅医療関係やベテランの先生方にも興味を持っていただける企画を創りたいです。宜しくお願い致します。



【ご挨拶】 理事就任



朝倉 健太郎 (厚生会 大福診療所)

近畿ブロック理事に選出いただきました大福診療所(奈良)の朝倉健太郎です。どうぞよろしくお願いたします。まだまだ若輩者ではありますが、10年前の自分自身とは違い、少しずつでも世の中は変わっていくのだなと思えるようになってきました。歳を取るとともに長い目で見ることができる視点が増えたからでしょうか。しかしながら、私たちが目指している理想はまだまだ先にあるように思います。新型コロナウイルス感染症によって、これまで以上に勘案する事情が増え、多くの制限にも困る日々です。医療の世界にとっては困難の連続かもしれませんが、しかしながら、これは逆にチャンスなのかもしれません。いつでも安心してかけられる医療が身近にあることや、公益性を重視した社会のあり方、予防の重要性などがあらためて求められていますが、これらはまさにプライマリ・ケアの重要性を問い直すことに他なりません。また、新専門医制度に関する様々な問題を速やかに落ち着かせ、質の高い総合診療医育成を軌道に乗せること、この領域に関わるより多くの人たちの力を結集させることは、依然、大きな課題といえます。近畿ブロックにおきましても、これまで以上にブロック内外のつながりを強固にし、連携強化を通して専門研修プログラムをより魅力的なものにしていくことを目指し、具体的な方法に落とし込んでいくことができると考えております。

現場の第一線で活躍する総合診療医が“Think globally, Act locally”のもとつながり合えれば、これほど魅力的な世界はありません。プライマリ・ケアの発展、医学教育、学会活動の発展のため頑張っていきたいと思っております。

【ご挨拶】 理事就任

長 哲太郎 (ファミリークリニックなごみ 大阪家庭医療・総合診療センター)

今回、新しく理事に選んで頂いた長 哲太郎(ちょう てつたろう)と申します。大阪で初期研修、家庭医後期研修を行った後に、北海道家庭医療学センターでフェローシップを専攻しました。現在は私自身が後期研修で学んだ診療所の所長として、初期研修医、専攻医の指導にも携わっています。



2020年は日本のプライマリ・ケア業界にとって、まさに風雲急を告げる状況です。新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、足下の臨床現場においても、感染防御の取り組みやオンライン診療といった新たな技術導入など、様々なチャレンジが行われています。また、総合診療専門医の育成指針も常に新しい様式が取り入れられ、活発な議論が行われています。各国の医療情勢も比較される状況において、日本のプライマリ・ケアがさらに発展していくかどうかは、今の私たちのコミットメントにかかっていると感じています。

若手としてフットワークを軽く、現場と学会活動がうまく融合するように尽力していきたいと思っております。諸先輩方をはじめ、ブロック支部の皆様にご教壇をいただくことが、あまたあると思っておりますが、何卒よろしくお願いたします。

近畿地方会延期のお知らせ

今秋に予定されておりました第34回近畿地方会(大阪医科大学 鈴木富雄大会長)ですが、新型コロナウイルス感染症拡大のためやむなく延期とさせていただくことになりました。心待ちにして下さっておりましたみなさま、何卒ご了承いただきますよう、よろしくお願いたします。先の読めない時代となっておりますが、地方会のあり方に関しましてもあらたな方向性を検討する必要があるかもしれません。次年度に向け、準備を進めていきたいと思っております。

## 【報告】 幹事会報告 2020/6/20

長 哲太郎 (ファミリークリニックなごみ)

近畿ブロック幹事会を、6月20日(土) zoom を用いたオンラインで実施しました。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面で場の雰囲気共有する会議開催が困難な状況です。雨森ブロック支部長の挨拶から始まり、議題は多岐にわたりました。2019年12月の第33回近畿地方会の運営についての振り返り、日本プライマリ・ケア連合学会本部が打ち出した「ブロック支部運営のあり方」についての共有、2020年2月のポートフォリオ発表会、6月のポートフォリオ合宿についての報告がありました。特に6月のポートフォリオ合宿については、急遽、企業とのコラボレーションで運営した経過もあり、近畿ブロック支部のコンプライアンスを維持する上で重要なディスカッションをすることができました。

協議事項としては、代議員会の開催方法や、近畿ブロックの2020年度の事業計画、近畿地方会の複数県の合同開催の模索など、重要な提案がいくつも出されました。特に、専攻医への教育機会を見直すテーマでは、まさに侃々諤々の議論ができました。ブロック支部の運営を多様性のあるものにしていくために、幹事の数を増やし、いろいろなコンテキストを持つ方の力を合わせていくことが確認されました。

この会議で、私は書記を担当しました。オンラインミーティングでは、直接対面の時より発言に対するリアクションが、分かりにくいと、しめやかな議事進行になるかと思っていました。しかし、チャットでの発言や実際のオンライン上の発言も活発で、書記が追いつかないほど活気のあるものになりました。

## 代議員会 WEB 開催に関するご報告

例年、6月から7月の間に近畿ブロック幹事会及び代議員会を実施しております。今年度は、いずれも対面の会議開催が難しく、WEBでの開催を行い、審議を進めております。代議員のみなさま、ご協力ありがとうございます。

### 近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、奈良の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。  
ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。



**支部長** : 雨森正記

**副支部長** : 鈴木富雄 戸田和夫 朝倉健太郎

**幹事** 滋賀 松井善典 中山明子 **京都** 関透 高木幸夫 山脇正永 川島篤志

**大阪** 大島民旗 木戸友幸 森村美奈 三澤美和 梶原信之 長哲太郎

**兵庫** 岡山政信 足立光平 一瀬直日 **和歌山** 畑伸弘 羽野卓三

**奈良** 石丸裕康 武田以知郎 西尾健治 吉本清巳

**監事** : 水野融 外山学

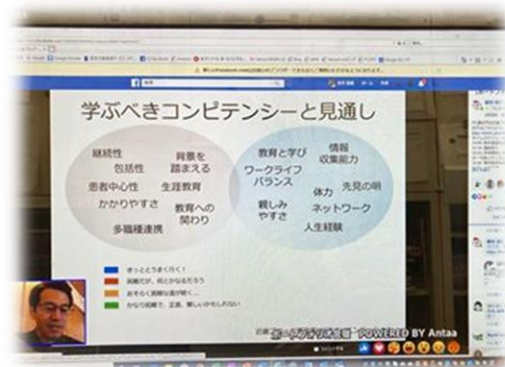
**顧問** : 空地頭一 松村理司 小泉俊三 大島久明 梶山泰男

**【近畿ブロック支部主催 勉強会報告】**  
**家庭医療専攻医および総合診療専門医コース向け**  
**2020年度 Web 専攻医オリエンテーションおよびポートフォリオ合宿**

近畿ブロック支部用の登録者専用フェイスブックページでライブ配信 2020/6/13

一瀬直日 (赤穂市民病院/兵庫県赤穂市)

新緑の中、近畿一円から専攻医 40 名 (1 年目 19 名、2 年目以上 21 名) を迎えて指導医陣と総勢 70 名が専用フェイスブックのページにアクセスし、動画配信を視聴しながらクイズに答えたりチャット質問するなど双方向性を保ちながら参加しました。【研修開始にあたって】(大竹要生) 【専攻医部会紹介】(溝江篤) 【ポートフォリオとは】(中山明子) 【ポートフォリオをどう生涯教育に落とし込むか】(長哲太郎) 【患者中心の医療の方法】(一瀬直日) 【事前課題からみえるキャリア形成の問題】(朝倉健太郎) と 3 時間のライブ講義は非常に充実したものとなりました。アンター(株)に映像配信と総合司会の技術支援を委託して行うことで、参加者の集中力が持続することができ、初めての Web 開催にも関わらず例年以上の成果が感じられました。終了後は Web 懇親会が 3 時間以上つづき、通常の懇親会をこえる深い議論が画面越しに行われました。事後アンケートでも「Web 開催になっても非常に充実していた」など非常に高い評価を得ました。



**[支部からのご連絡]**      **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!**

**近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました!**

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/>      是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之